

○令和3年3月に公表した「流域治水プロジェクト」について、その取組を一層推進し、浸水被害の防止・軽減を図るため、取組の進捗状況を「見える化」し、プロジェクトの更なる充実を図る。

- ・指標を活用した流域治水プロジェクトの更なる推進
- ・水害リスク情報の充実
- ・グリーンインフラの取り組みについて
- ・事業箇所、ロードマップ、全体事業費の更新

令和4年3月末

令和3年度内の一級水系の各プロジェクトの取組を「見える化」

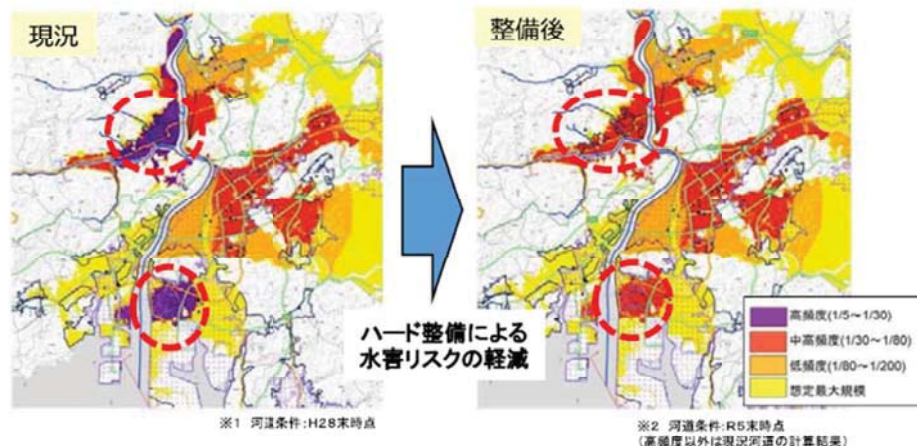
流域治水の根幹を支える
河川改修事業やダム事業の加速化

事業効果・進捗の見える化

全国109の全ての一級水系で、外水氾濫※を対象とした河川改修事業等による効果を公表

※国直轄区間における河川事業・ダム事業のみを対象 ※現況河道及び当面整備（概ね5か年）後のみ

降雨確率（10年に1度、100年に1度など）に応じた浸水範囲を重ねることにより現在の浸水リスクを示すとともに、戦後最大洪水等に対応した河川整備の進捗状況に応じた浸水範囲の変化を可視化し将来のリスクも提示することにより、河川整備の効果を「見える化」し、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進
※令和4年度以降も引き続き内水を考慮するなど、水害リスク情報を追加・充実



整備効果の見える化のイメージ

あらゆる関係者の協働による
ハード・ソフト一体となった事前防災対策の推進

指標を活用した流域治水プロジェクトの更なる推進

全国109の全ての一級水系でハード・ソフト各々の主要な取組の進捗を公表

流域治水のもと、あらゆる関係者の協働による事前防災対策の取組状況を「見える化」することにより地域が抱える諸課題に対し、先行事例を踏まえての更なる検討の促進や対策の充実を図る。

～流域治水プロジェクトに関する主な指標～



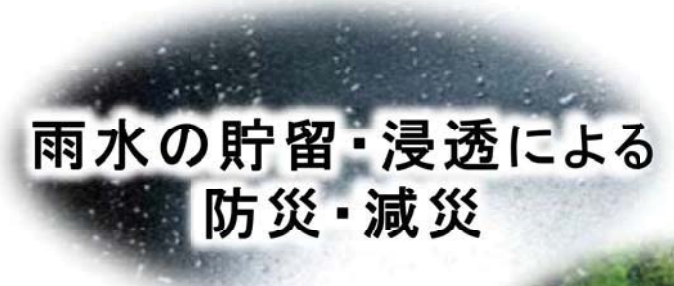
流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの取組

- 流域治水の促進にあっては、自然環境が有する多様な機能を活用するグリーンインフラの取り組みを推進し、持続可能で魅力ある地域づくりに寄与することが必要。
- 全国の一級河川において、プラス的要素である環境分野において、河川管理者のみならず学識者、地方公共団体等と更なる連携をはかり、短・中長期的な視野をもち計画的な取り組みを見える化することにより、環境分野の取り組みへの理解、支援を得ることを目的として公表する。

□自然環境が有する多様な機能



植物の蒸発散機能を通じた
気温上昇の抑制



雨水の貯留・浸透による
防災・減災



水源涵養



水質浄化



生物の生息・生育の
場の提供



農作物の
生産



良好な
景観形成



土壌の
創出・保全

○グリーンインフラ関係の追記、事業費・事業箇所・ロードマップの更新



○グリーンインフラの取組、事業効果の見える化、具体的な取組事例の追加



暫定版

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、重信川水系においても、中下流域の広大な扇状地への拡散型の氾濫、急流河川である重信川の水位上昇に伴う支川の氾濫が発生する水害特性からも、事前防災対策を進める必要があることから、河川整備や、支川の氾濫対策として雨水貯留施設等の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成13年6月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※本対策箇所は主要箇所のみ記載しています。

重信川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

暫定版

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

● 重信川では、中下流域の広大な扇状地への拡散型の氾濫、急流河川である重信川の水位上昇に伴う支川の氾濫が発生する流域の特徴から、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 被害ポテンシャルの高い箇所の重大災害の発生を、未然に防ぐため、堤防漏水対策に加え、雨水貯留施設等、排水施設等の流域対策を実施。

【中期】 下流左岸ブロックの浸水被害の解消のため、堤防漏水対策を実施。支川御坂川においても河道掘削・引堤を完了させる。

【中長期】 残る堤防漏水対策を全て完了させ、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防漏水対策、局所洗掘対策	松山河川国道事務所	下流右岸		上流左右岸
	河道掘削・引堤	愛媛県	上井出堰まで	上流左右岸	
	利水ダム等4ダムにおける事前放流の実施、体制構築	松山河川国道事務所・四国土地改良調査管理事務所・道後平野土地改良区・伊予郡砥部町土地改良区・愛媛県・松山市			
	砂防施設の整備	四国山地砂防事務所・愛媛県		砂防施設整備の継続	
	森林整備、治山対策等【森林】	四国森林管理局・森林研究・整備機構森林整備センター・中国四国整備局・愛媛県			
	雨水貯留施設等、排水施設の整備【下水】	松山市・東温市 松前町・砥部町	筒井地区排水路、雨水貯留施設の完了 堀谷地区雨水排水対策施設の完了 高尾田地区雨水排水対策施設の完了		
	民間事業者や住民による流出抑制対策への支援【下水】	松山市・東温市			
被害対象を減少させるための対策	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説	愛媛県			
	立地適正化計画の推進【都市】	松山市・伊予市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	想定最大規模等に対応したタイムラインの作成、訓練等	松山河川国道事務所・愛媛県・気象台 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	近隣市町との広域避難に関する調整及び避難経路の検討	松山河川国道事務所・愛媛県 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	地域住民に切迫感が伝わる情報提供方法の検討	松山河川国道事務所 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
	排水活動の強化	松山河川国道事務所 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町			
グリーンインフラの取組	湿地の再生、連続性の回復	松山河川国道事務所			
	重信川かわまちづくり	松山河川国道事務所 松山市・東温市・松前町・砥部町	リバーサポート、サイクリングロード等の整備		
	流域関係者とのフォーラムの開催（環境・防災）	松山河川国道事務所 松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町等			

■事業規模

河川対策（約129億円）
砂防対策【国】（約105億円）
下水道対策（約53億円）

気候変動を
踏まえた更なる
対策を推進

スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

重信川水系流域治水プロジェクト【位置図】

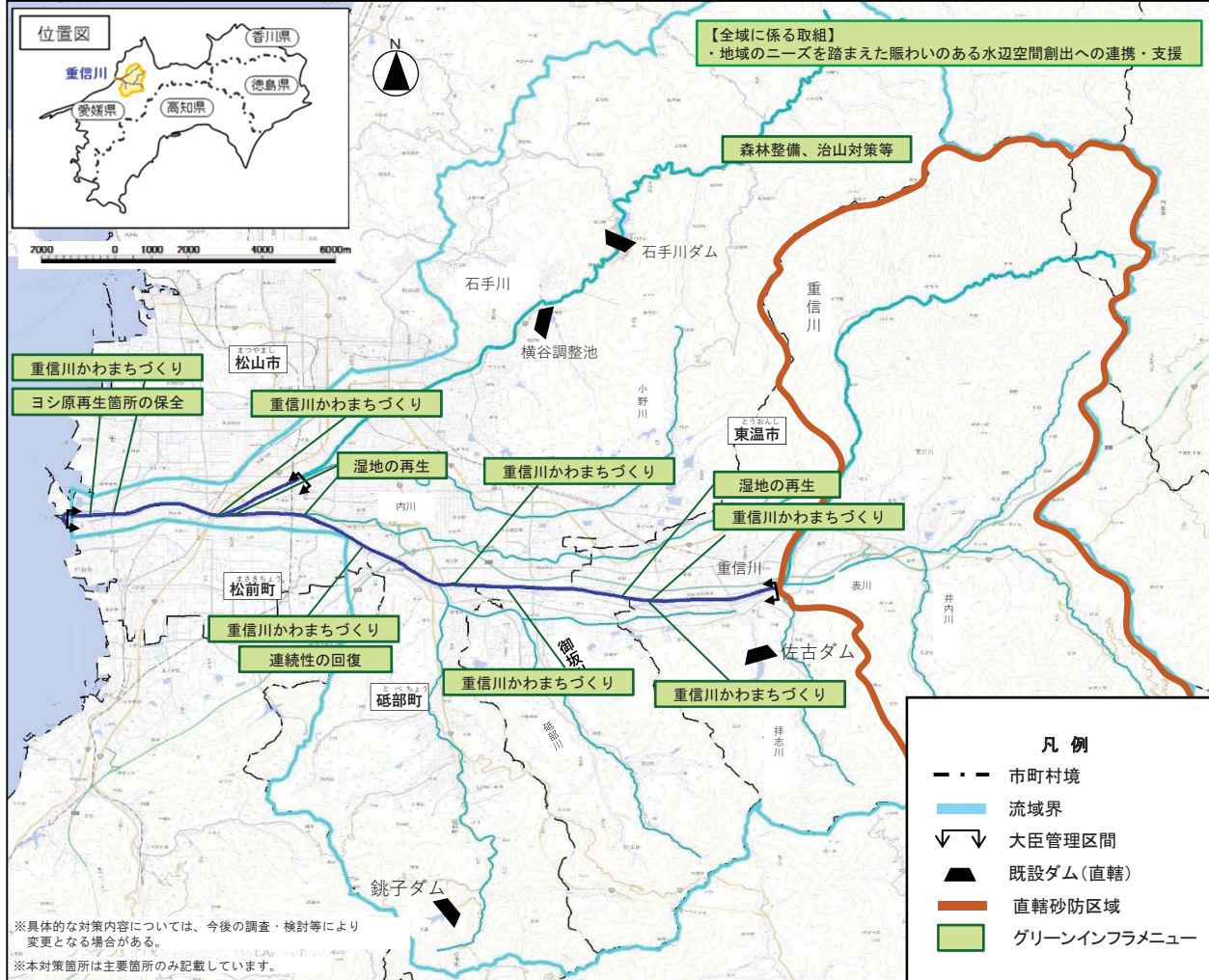
暫定版

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『泉・霞の再生を軸とした水と緑のネットワークの形成』

○重信川は、伏流しやすくその一方で湧水がある砂礫質の河原、河床変動や流路移動が生じやすい河道、渇水時・洪水時の魚類等の避難の場等として、重信川の厳しい環境を補完する霞堤等の特徴的な環境を持っている。これら特徴的な環境にはそれに依存する動植物が生息、生育、繁殖し、また、河川景観が形づくられている。重信川の河口域の干潟は環境省の「シギ・チドリ類重要渡来地域」及び「日本の重要湿地500」に選定されており、鳥類にとって良好な生息環境となっている。また、中流域では、渇水時には瀬切れが発生するが、霞堤等により堤防の内と外の支川や泉などの自然環境を繋げることで多様な動植物の生息空間の確保を行ってきた。

○社会の成長に伴い、かつての水辺の原風景が失われつつあるなかで泉・霞の再生を軸とした水と緑のネットワークを形成するため今後概ね20年間で霞堤における湿地の再生、流入支川の多自然化、河畔林の整備等を実施するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●自然環境の保全・復元などの自然再生

湿地の再生、連続性の回復、ヨシ原再生箇所の保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

重信川かわまちづくり

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・流域関係者とのフォーラムの開催（環境・防災）
- ・開発霞ワーキング会議の実施（霞・泉の再生・保全の検討）



ヨシ原再生箇所の保全

泉の再生（松原泉）



かわまちづくり

流域関係者とのフォーラムの開催

重信川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～足立重信の築いた伊予の暮らしと産業を守る流域治水対策～

暫定版

集計中

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率



整備率 ○○%

(令和○年度末時点)

集計中

農地・農業用施設の活用



○○市町村

(令和○年○月時点)

集計中

流出抑制対策の実施



○○施設

(令和○年○月時点)

集計中

山地の保水機能向上・
土砂・流木対策



治山対策・森林整備

○○箇所

(令和○年○月時点)

砂防事業による保全箇所

○○施設

(令和○年○月時点)

集計中

立地適正化計画における
防災指針の作成



○○市町村

(令和○年○月時点)

集計中

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定

○○河川

(令和○年○月時点)

内水浸水想定

○○団体

(令和○年○月時点)

集計中

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保計画

○○施設

(令和○年○月時点)

個別避難計画

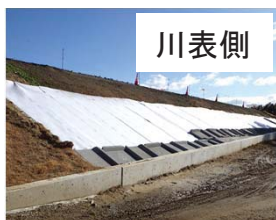
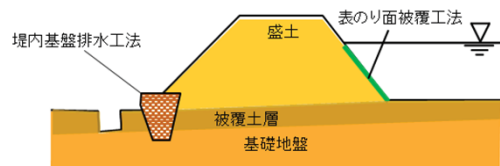
○○市町村

(令和○年○月時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防漏水対策

対策イメージ図



川表側



川裏側

河川堤防の漏水に対する詳細点検の結果を踏まえ、堤防漏水の発生状況、被災履歴、被災規模、現在の堤防が有している背後地の社会条件等も考慮し、優先度が高い区間から計画的に堤防の漏水対策を実施する。

被害対象を減少させるための対策

不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説



出典：愛媛県ホームページ

愛媛県は、災害時における県民の避難行動の支援を図るため、不動産取引の機会に、洪水浸水想定区域図等を提示し、マップ上の物件の位置等を説明するよう愛媛県宅地建物取引業協会及び全日本不動産協会愛媛県本部と協定を締結。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

排水活動の強化



排水ポンプ車の導入により排水活動の強化を実施する